

平成 25 年 9 月 26 日

**「錦織 圭選手」のジュニア時代のコーチであった
「柏井 正樹氏」を講師としてお招きし
「福島県スポーツ指導者研修会全県研修会」が開催されます
テーマ：「草の根」から「ナショナル」それぞれでの指導者
～僕たちはジュニア時代の彼らに何を伝えておくべきか～**

福島県スポーツ指導者協議会では、(公財)日本体育協会・(公財)福島県体育協会と連携を密にし、公認スポーツ指導員の資質の向上を目的として研修会を毎年開催しております。今回の研修会は、平成 25 年度研修会のうち第 2 回にあたります。奮ってご参加下さい。

(1)日 時：平成 25 年 11 月 24 日(日) 9 時受付開始 15 時 30 分終了予定

(2)会 場：郡山ユラックス熱海(大会議室)

〒963-1309 郡山市熱海町熱海二丁目 148-2

TEL 024-984-2800

(3)受講料：1,000 円(資料代)当日徴収

(4)募集定員：200 名

(5)参加申込方法

(あて先) 福島県スポーツ指導者協議会 事務局 塩田幸男 宛

① 官製はがきでの申込

〒963-8071 郡山市富久山町久保田字古町 2-8 3-505

② FAX での申込

(FAX) 024-938-7649

③ E-mail での申込

shidoukyo.fuku12@ae.auone-net.jp

(6)必要記載事項

郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員の方は(登録番号、資格、競技名)を明記

会員以外の方は(競技種目)を明記

(7)申込締切：平成 25 年 11 月 14 日(木)

※お問合せは下記まで

福島県テニス協会

普及指導ルール審判委員会 委員長 竹花 厚 まで

(TEL) 024-947-7133 (携帯) 080-1808-4119

(E-mail) atakehan@yahoo.co.jp

平成25年度福島県スポーツ指導者協議会事業計画(案)

月日	事業名	開催場所	募集人数
4月14日(日) 15:00	第1回福島県スポーツ指導者協議会 理事会・代議員会	郡山市熱海町 浅香荘	
6月上旬	平成25年度会誌発行・送付	公認指導員全員	
6月13日(木)	平成25年度全国スポーツ指導者 連絡会議・東北ブロック会議	郡山市 ビューホテルアネックス	各県代表3名程度
10月 6日(日)	福島県スポーツ指導者協議会 第1回研修会(会津地区)	郡山市 会津大学	100名
11月11日(日)	全県研修会事務打合わせ	郡山市 ユラックス熱海	
✓ 11月24日(日)	福島県スポーツ指導者協議会 第2回全県研修会	郡山市 ユラックス熱海	200名
12月中旬	全国スポーツ指導者連絡会議 スポーツ指導者全国研修会	東京都	
26年1月26日(日)	福島県スポーツ指導者協議会 第3回研修会(県南地区)	いわき市 サンフレッシュ白河	100名
3月16日(日)	福島県スポーツ指導者協議会 正副会長会議	郡山市 サンライフ富久山	

【本年度の研修会内容】

◎第1回研修会(会津地区・半日研修) 会場 会津大学

「スポーツと栄養そして現場で役立つ救急法・テーピング実習」

講師 公立藤田総合病院 管理栄養士 山崎有里子氏

講師(公財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー 鬼澤武則氏

◎第2回研修会(全県・1日研修) 会場 ユラックス熱海

講演 「草の根」から「ナショナル」それぞれでの指導者

～僕たちはジュニア時代の彼らに何を伝えておくべきか～

講師 島根県グリーンテニススクール・カシワイテニスサービス代表 柏井正樹氏

先日の全米室内テニス選手権で優勝を飾り、ATP最新ランキング世界16位の錦織 圭選手のジュニア時代にその才能を見だし育成し、世界に送り出したコーチの指導哲学を学ぶ。

特別講演 「スポーツ指導の勘どころ その技と心」

講師 福島大学スポーツユニオン(人間発達文化学類教授) 白石 豊氏

スポーツの本質とは？今われわれスポーツ指導者に問われる大きな問題に示唆を与える指導方法を学ぶ。

◎第3回研修会(県南地区・半日研修)

「スポーツと栄養そして現場で役立つ救急法・テーピング実習」

講師 公立藤田総合病院 管理栄養士 山崎有里子氏

講師(公財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー 鬼澤武則氏

講演

演者

「草の根」から「ナショナル」
それぞれでのコーチ・指導者
～僕たちはジュニア時代の彼らに
何を伝えておくべきか～



かしわ い まさ き
柏井 正樹

グリーンテニススクール・カシワイテニスサービス代表

プロフィール

■経歴 / 1960年7月6日生まれ 島根県出身 公認テニス上級コーチ・公認テニス上級教師

中学・高校時代は生徒会活動や文芸部にて読書に没頭するなどスポーツとは異なる環境で生活を送り、大学入学後にテニスを始める。当時サークルであったクラブを同好会、体育会に昇格させる立役者となった(競技成績によってサークル→同好会→体育会へと名称が変わる)。また、卒業年次には大会のシード選手と互角に戦えるまでになり、初心者からスタートした自身が培ってきた経験を基に、所属クラブにて後輩に対し練習法を実践したところ彼が中四国大会でベスト8となったことから、後進の指導にあたる職業(テニスコーチ)を選択、以後指導者としての道をスタートさせる。

1982年から香川県にてテニスコーチを経験した後、1989年、島根県に帰郷し、ふるさとでのコーチ生活をスタートさせる。指導にあたっては、まずは楽しむことを最優先したうえで、勝てばもっと楽しいという考えを上乗せした理念に基づき指導を行なっている。また、ジュニア対象のスクールを開設した際には、特に選手の持つ「センス」を見極め、引き出し、選手の背中を後押しすることを心がけている。

1995年には当時6歳であった錦織圭選手(2012年11月26日現在世界ランキング19位)と出会い、13歳で渡米するまでの7年間プライベートコーチとして指導にあたる。その間、2001年には同選手を全国選抜ジュニアテニス選手権、全国小学生テニス選手権、全日本ジュニアテニス選手権U12の各大会優勝のタイトル獲得へと導いた。その後も、錦織選手のみならず多くのジュニア選手を中国地区や全国レベルの大会での優勝や上位進出へと導いており、その功績において、日本テニス協会優秀指導者賞をはじめ、日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰、日本プロテニス協会優秀コーチ賞などを受賞した。

現在においても自身が代表を務めるカシワイテニスサービス、グリーンテニススクールにおいて日々、ジュニア選手の指導に携わっている。

島根県テニス協会ジュニア委員会顧問、中国テニス協会ジュニア委員副委員長を務めるなど、自身の経験を幅広く伝えるべく活動している。